

## 典拠管理タスクリストの使用

〔典拠管理タスクリスト〕を使用するには、次のいずれかの役職が必要です。

- 目録者
- 目録マネージャー
- 目録管理者

〔典拠管理タスクリスト〕は、機関の書誌レコードの標目に関連する典拠レコードのアップデートと典拠管理プロセスに関する詳細を提供します。

詳細については、次を参照してください。 [典拠管理ルール](#)。

### Note

典拠コントロール規則の設定で優先レコード修正規則を有効にすると、レポートに「修正前のBIB標目」と「修正後のBIB標目」の2つの追加列が表示されます。

〔典拠管理タスクリスト〕を使用すると、目録保守タスクを簡単に管理することができます。具体的には、このリストは手動での介入を必要とする典拠の標目のアップデートを強調します。

Report Type	Change Date	LAME ID	Title	Vocabulary	Field	BIB Heading	ACTL Originating System ID	BIB Level
Linking - BIB heading found to existing ACTL headings	12/11/2021	991382712280201021	간호사의 임종 심화론 연구 =	LONAMES	100	중용어	-	01
Linking - BIB heading found to matching ACTL headings	10/11/2021	99138269926001021	간호사의 임종 심화론 연구 =	LONAMES	100	중용어	-	01
Linking - BIB heading found to matching ACTL headings	09/11/2021	99138258818201021	간호사의 임종 심화론 연구 =	LONAMES	100	중용어	-	01

## 典拠管理タスクリストの変更リスト

以下は、〔典拠管理タスクリスト〕で強調表示されている変更のリストです。その一部には、リンキングの問題、優先語の修正の問題、削除/アップデートされた典拠レコードなど、手動での介入が必要なものがあります。

- リンキング - 書誌の標目に一致する典拠の標目が見つかりませんでした
- リンキング - 書誌の標目に複数の一致する典拠の標目が見つかりました (曖昧な結果)。この現象は、例えば米国議会図書館が1つの主題標目を2つに分割する場合 (例: **Nurses and nursing**を**Nurses**と**Nursing**に分割・置換) などに発生する可能性があります。機関ゾーンまたはネットワークゾーンで複数の一致が見つかった場合、ACTLは複数の一致する標目を報告します。また、コミュニティゾーンの典拠レコードとローカル典拠レコードの一致が見つかった場合にも発生する可能性があります。
- リンキング - 典拠レコードにリンクされている書誌標目
- リンキング - 既存の典拠レコードを新しい典拠レコードに置き換えたことにより、書誌の標目リンクが変更されました (リダイレクト)。この機能はIDベースの典拠管理を設定しており、メタデータの設定で直接ID接頭語を実装している機関向けです。

- 優先語の修正 - 書誌の標目をアップデート
- 優先レコード修正 - 同一の生成システムIDを持つ複数の一致するAUT標目（曖昧）
- 優先語の修正 - 書誌の標目に承認された用語が見つかりませんでした
- 優先語の修正 - 書誌の標目がアップデートされ、タグが変更されました
- 典拠レコードの削除 - 書誌の標目のリンクが解除されました
- 典拠レコードがアップデートされました

優先語の修正に関連する詳細については、句読点設定オプションの[add\\_punctuation\\_for\\_heading](#)を参照してください。

レポートのタイプもしくは変更の完全なリストについては、[タスクの表示](#)を参照してください。

---

## 典拠管理タスクリストの取り扱い

---

### スタンドアロン/ネットワークゾーン機関

典拠管理タスクリストページ内のレビュータブまたはすべてのタブからタスクの表示を選択できます。

- レビュータブ - 機関レコードへの変更と、図書館が対応を検討すべき変更を表示します
- 全タブ - 一般的な情報として全ての変更を表示します。

[レビュー] タブと [全体] タブのリストは、以下のオプションを使用してフィルタリングできます。ページファセットおよびフィルターの値は、セッションごとに固定されています。

ファセット：

- [単語] - このオプションを使用することで、複数の単語がある場合に特定の単語のレコードを表示することができます。
- [フィールド] - 特定のフィールドを含むレコードを表示するには、このオプションを使用します。

詳細については、「[典拠コントロールタスクリスト：コミュニティゾーンレコードの除外](#)」動画（0:52分）をご覧ください。

フィルター：

- [レポートタイプ] (詳細については[タスクの表示](#)を参照)
- リンクされた目録タイプ
  - 全て
  - [冊子]
  - [デジタル]
  - [電子]
  - [目録なし]
- 送信日付レンジ - 典拠管理タスクは、最近の6か月だけ保持されます。したがって、日付レンジによるフィルタリングは過去6か月に制限されます。
- 簡易レベル - 特定の簡易レベルのレコードを表示するには、このオプションを使用します。この機能は、典拠管理タスクリストの情報の追加コラムとして表示されるように設定することが可能です。
- ディスカバリーで非公開] - このオプションのはいを使用すると、ディスカバリーで非公開にされているレコードの

- みを表示し、いいえを選択するとディスカバリーで公開されているレコードのみを表示するように設定が可能です。
- コミュニティゾーンにリンク - このオプションのはいを選択するとコミュニティゾーンにリンクされているレコードのみを表示し、いいえを選択するとコミュニティゾーンにリンクされていないレコードのみを表示するように設定が可能です
  - 次にリンク：- このオプションを使用して、リンク別にレコードをフィルタリングします。ネットワークゾーンにリンクされているレコードのみを表示する（ネットワークゾーン）、コミュニティゾーンにリンクされているレコードのみを表示する（コミュニティゾーン）、またはリンクされていないローカルレコードのみを表示する（リンクされていない）。

---

#### Note

上記のフィルター（にリンク）は、ネットワークに参加している機関に対してのみ表示されます。

---

詳細については、「[典拠コントロールタスクリストのフィルタリング](#)」動画（1分）をご覧ください。

正常にリンクされた見出しの場合、**[その他の設定]**設定パラメーター `authority_control_link_available` を使用して、この情報を**[典拠管理タスクリスト]**ページの**[すべて]**のタブに表示するかどうかを示します。詳細については[その他の設定](#)を参照してください。

詳細については、「[典拠コントロールタスクリスト](#)」動画（1:37分）をご覧ください。

---

#### Note

典拠管理タスクリストで典拠レコードを使用する場合、典拠詳細検索で**[MMS作成日]**索引を使用すると役立つことがあります。たとえば、この検索索引を使用すると、ロードされた新しい典拠レコードのリストを表示できます。詳細については、[詳細検索の使用](#)を参照してください。

---

ネットワークゾーン内のコンソーシアムメンバーにとって、典拠コントロールタスクリストはローカルメンバーレコードに対してのみ行われたリンクとPTCを反映します。ネットワークゾーンレコードに関する情報はネットワークゾーンの典拠管理タスクリストにのみ存在します。

---

## コンソーシアムのメンバー機関

典拠コントロールタスクリスト（ACTL）により、メンバー機関は自機関の書誌レコードがリンクされているネットワークゾーン内で処理されたレコード（ネットワークゾーンリンクレコード）の典拠コントロール報告ラインを確認できます。さらに、ユーザーは自機関のローカル書誌レコードに対するローカル典拠コントロールレコードも閲覧可能です。

自機関で ACTL を有効化するには、**設定メニュー > リソース > 一般 > その他の設定** に移動し、パラメータ `enable_consortia_actl` を **true** に設定してください。

「原機関」とは、書誌レコードが処理されたレポートラインを指します。

「原機関」列には以下の2種類の表示アイコンが表示されます。

1. (



) 機関アイコン: 機関アイコンは、ローカルで処理された書誌レコードを示します。このようなレコードの場合、アクションボタン (



)には次のアクションが含まれます：却下、編集、非表示の表示。

## 2. (



)ネットワークゾーンアイコン:ネットワークアイコンは、リンクされている機関の書誌記録を持つネットワークゾーンで処理された書誌記録を示します。このようなレコードの場合、アクションボタン (



)には次のアクションが含まれます：ローカルで却下（却下アクションと同様）、ネットワークで却下（詳細は後述）、編集、非表示の表示。

## ネットワークを却下する

コンソーシアム内での典拠コントロール効率向上のため、「ネットワーク全体で却下」操作により、ACTL報告行を自機関のみ（ローカルで却下オプションの場合）ではなく全コンソーシアムメンバーに対して却下できます。他のコンソーシアムメンバーがACTLに同一報告を有する場合、その報告も却下され、各メンバーの作業負荷が軽減されます。

Origin	Report Type	Change Type	MMA ID	Title	Vocabulary	Field	BB Heading Before	BB Heading After	AUT Originating System ID	More options
1.	Linking: BB heading Sound no matching AUT headings	03/01/2024	99992094386702202	Streichquartett Nr. 5: opus 197: sieben Klaviersonaten	NOTER/ND	084	F3110	-	-	Dismiss Locally Dismiss for Network Edit View hidden
1.	Linking: BB heading Sound no matching AUT headings	03/01/2024	990412685204702202	Deliberately: have em leaving the antisocialism?	UTML/ASS	084	L.234	-	-	
1.	Linking: BB heading Sound no matching AUT headings	03/01/2024	99992040690102202	Coping strategies of mental health problems among refugee groups in Germany	ODOK	084	XP5d Samfunnspsyk. (DP)	-	-	

ネットワークアクションを却下アクション

## タスクを表示

典拠管理タスクリストでタスクを表示するには、次の手順で進めます。

### 典?管理タスクリストでタスクを表示する方法

1. 典拠管理タスクリストページを開きます。
2. [レビュー] タブまたは [全体] タブを選択します。
3. [リポートタイプ]、[リンクされた目録タイプ]、または [提出日付範囲] でフィルタリングして、フォーカスするタスクを表示します。

レビュータブのレポートタイプオプションは以下の通りです。

リポートタイプのフィルタリングオプション - レビュータブ

リポートタイプ	説明
AUTレコードの削除 -リンクされていない書誌標目	このオプションは、削除された典拠レコードを参照し、手動での処理が必要になる場合があります。
GND – AUTレコード の部分的なりダイレクト	典拠レコードのLDR/05 = cかつ 682 \$\$i = "Aufspaltung-mit-Teilumlenkung" の場合、これは典拠レコードが分割されたことを示します。典拠レコードにリンクされている書誌の標目は、リンクされたままにする必要があるものと、別の典拠レコードにリンクする必要があるものがあり、決定するためには手動で処理する必要があります。典拠管理タスクリストは、アップデートされた典拠レコードにリンクされている各書誌標目レコードをリポートします。アップデートされた典拠レコードの発信元システムIDについては、AUT発信元システムID列を参照してください。

レポートタイプ	説明
GND - 削除対象のAUTレコード	典拠レコードの LDR/05 = c かつ 682 \$i = "Loeschung" の場合、これは典拠レコードがGNDで削除されようとしていることを示します。〔典拠管理タスクリスト〕は、削除する典拠レコードにリンクされている各書誌標目をレポートします。アップデートされた典拠レコードの発信元システムIDについては、AUT発信元システムID列を参照してください。
GND - 自動リダイレクトなしで分割	典拠レコードでLDR/05 = cかつ682 \$i = "Aufspaltung-ohne-Umlenkung" の場合、これはリダイレクトなしでGNDで分割されたGND典拠レコードを示します。典拠管理タスクリストは、このタイプのレコードにリンクされている各書誌見出しを報告します。
GND - 分割自動リダイレクト付き	典拠レコードでLDR/05 = cかつ682 \$i = "Aufspaltung-mit-Umlenkung" の場合、これはGND典拠レコードがリダイレクトによってGND内で分割されていることを示します。典拠管理タスクリストは、このタイプの各書誌レコードを報告します。典拠レコードにリンクされている書誌の見出しは、リンクされたままにするものと別の典拠レコードにリンクするものについて決定するためには、手動で処理する必要があります。
リンキング - 書誌標目で一致する複数のAUT標目が見つかりました (曖昧な結果)	このオプションは、書誌レコードの標目と典拠標目のレコード間のリンクを見つける試みを参照します。場合によっては、複数の一致が見つかります。一致する可能性があるものを確認して、どちらが正しいかをレビューする必要があります。
リンキング - 書誌標目に一致するAUT標目が見つかりませんでした	このオプションは、書誌レコードの標目と典拠標目のレコード間のリンクを見つける試みを参照します。一致する典拠標目のレコードが見つからない場合は、書誌レコードの情報を確認することができます。
リンキング - AUTレコードのリダイレクトによる書誌標目リンクの変更	このオプションは、典拠レコードのリダイレクトの変更によって引き起こされる書誌レコードのリンクの変更を参照します。 この機能はIDベースの典拠管理を設定しており、メタデータの設定で直接ID接頭語を実装している機関向けです。詳細については、 <a href="#">書誌レコードにおける典拠レコードIDの自動更新</a> セクションを参照してください。
リンキング - 書誌の標目は、より高い優先度でAUTレコードに再リンクされました	このオプションは、典拠の優先度による再リンキングによって引き起こされる書誌レコードのリンキングの変更を参照します。詳細については、 <a href="#">プロセスと典拠のリンキング - 典拠の優先度と書誌の標目ジョブのリンク</a> を参照してください。
優先語の修正 - 書誌標目で承認された用語が見つかりませんでした	このオプションは、リンクされた典拠レコードの優先語の値を含む書誌レコードのアップデートを参照します。リンクされた典拠レコードに非優先語に一致する優先語がない場合(非優先語が410フィールドに登録され、優先語が100フィールドにある場合など)、書誌レコードはアップデートされません。
優先語の修正 - 同じ発信元システムIDを持つ複数の一致するAUT標目 (曖昧な結果)	このオプションは、同じ発信元システムIDを持つ複数の典拠レコードが見つかった場合を参照します。
優先語の修正 - 同じ言語の複数の優先語が見つかりました。	<a href="#">同じ言語コードのサブフィールド9</a> および <a href="#">多言語典拠レコードの操作</a> を参照してください。
優先語の修正 - 非多言語典拠レコードに	このレポートタイプは、通常のフィールドとそれに対応する880フィールドの両方が同じ非多言語典拠レコードにリンクされているため、典拠 - 優先用語の修正ジョブで修正されない代替グラフィック表記を持つフィー

レポートタイプ	説明
<p>リンクされた代替グラフィック表記を持つフィールドの修正は行われませんでした</p>	<p>ルドを識別します。典拠-優先用語の修正ジョブは、これらのケースをこのように処理して、通常のフィールドとそれに対応する880フィールドの両方が修正後に同じ値を持つような、優先用語の修正を防ぎます。</p> <p>880フィールドを典拠レコードにリンクするには、880をアクセスポイントとして設定する必要があります。詳細については、<a href="#">アクセスポイントとして実装された880フィールドの操作</a>を参照してください。</p>
<p>優先擁護の修正-書誌見出しがアップデートされました(仲介された修正)</p>	<p>このレポートタイプには、書誌見出しの優先用語修正のために識別されたレコードがリストされます。</p> <p>各レコードと提案された変更を確認して、どの書誌見出しフィールドを修正するかを決定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>フィールド列には該当するフィールドが含まれる</li> <li><b>BIB</b>標目前列には現在のエントリが含まれる</li> <li><b>BIB</b>標目後列には提案されたエントリが含まれる</li> </ul> <p>提案された変更を承認し、書誌見出しを更新するには:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>承認および修正の準備が整ったレコードのチェックボックスを選択してください。選択したものを適用するを選択する</li> <li>「すべて適用」を選択すると、提案された変更を含むレコードのリスト全体を承認・修正する</li> </ul> <hr/> <p><b>Note</b></p> <p>このレポートは、デフォルトでは典拠コントロールタスクリストに表示されません。</p> <hr/> <p>このレポートを有効化するには、「<a href="#">典拠コントロールルール</a>」を参照してください。</p>
<p>優先語の修正-更新された書誌見出しと修正されたタグ</p>	<p>このレポートにより、図書館はAlmaを設定して、典拠相互参照に基づいて書誌標目を修正し、優先レコードに更新し、それに応じて書誌レコードのフィールドタグを変更することができます(例: 610から630へ)。これにより、書誌データが典拠レコードの優先レコードと整合した状態が維持されます。</p> <p>書誌フィールドがX30フィールドに更新されると、書誌レコードの非ファイリングインジケータはリンクされた権限レコードに基づいて調整されます。MARC21標準に従って、典拠フィールド130(非ファイリング文字)の1番目のインジケータが、X30書誌フィールドの2番目のインジケータにコピーされます。</p> <p>所属機関でこの機能を有効にするには、関連する典拠語彙の語彙コードを、カンマ区切りで顧客パラメータ authority_ptc_ignore_suffix ([設定メニュー]&gt;[リソース]&gt;[一般]&gt;[その他の設定])に入力してください。</p> <hr/> <p><b>Note</b></p> <p>書誌見出しが相互参照を通じて典拠レコードにリンクされており、優先レコードと非優先レコードが別のフィールドに格納されている場合(例: 優先レコードがフィールド130、相互参照がフィールド410)、Almaは代替グラフィック表現を含むフィールドでも適切に処理します。</p> <p>このシナリオを管理するようにAlmaを設定した図書館では、リンクを維持しながら、リンクされた代替グラフィック表現に適用された優先レコードの修正が表示されます。</p> <p>これは2024年11月以降のリリースから、典拠にリンクされた書誌見出しに適用が開始されます。既にリンク済みの標目に適用するには、F3キーで手動で再リンクするか、選択したレコード群に対して「典拠レコードから書誌レコードのリンク解除」ジョブを実行する必要があります。</p>

上記のすべてのレポートタイプオプションは、**[全体]**タブにも表示されます。これらに加えて、**[全体]**タブには、次の表で説明されているレポートタイプが含まれています。

レポートタイプ	説明
AUTレコードのアップデート	<p>このオプションは、Almaはアップデートされた典拠レコードに関する情報を表示します。</p> <p>タスクリストには、機関の書誌標目レコードにリンクされた、アップデート済みの典拠レコードのエントリのみが表示されます。アップデートされたものの機関の書誌標目レコードにリンクされていない典拠レコードのエントリは表示されません。</p>
リンキング - AUTレコードのリダイレクトによる書誌標目リンクの変更	<p>このレポートタイプは、リダイレクトによって新しい典拠レコードが既存の典拠レコードに置き換わったときに、書誌レコードに加えられた変更に関する詳細を提供します。</p> <p>このレポートタイプでは、「コメント」列（レビュータブではなく全タブに表示）が以下の情報を提供します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>典拠レコードの035 \$zから取得された古い典拠レコードID</li> <li>典拠レコードの035 \$aから取得された新しい典拠レコードID</li> </ul> <p>この機能はIDベースの典拠管理を設定しており、メタデータの設定で直接ID接頭語を実装している機関向けです。詳細については、<a href="#">書誌レコードにおける典拠レコードIDの自動更新</a>セクションを参照してください。</p>
リンキング - AUTレコードにリンクされた書誌標目	<p>このオプションは、書誌レコードの標目と典拠の標目レコードの間のリンクを見つけようとしています。書誌の標目と典拠レコードの間にリンクが形成されると、タスクリストにエントリが作成され、リンクされた標目の情報が表示されます。</p>
優先語の修正 - 書誌標目がアップデートされました	<p>このオプションは、リンクされた典拠レコードの優先語の値を含む書誌レコードのアップデートを参照します。このアップデートが成功すると、エントリには変更前後の書誌レコードの値が表示されません。</p> <p>典拠レコードが削除されると、照合に使用した書誌標目からリンクが解除されます。そのような各リンクのエントリは、削除前のリンクを示しています。</p> <hr/> <p><b>Note</b></p> <p>タスクリストには、削除された機関のエントリの中で機関の書誌標目レコードにリンクされたもののみが表示されます。削除されたエントリのうち、機関の書誌標目レコードにリンクされていない典拠レコードのエントリは表示されません。</p> <hr/>

4. [検索] オプションを使用して、リスト内の特定のレコードを見つけます。以下の情報の列/フィールドを検索用に選択できます。

[レビュー] タブ：

- 。 [書誌標目]
- 。 [MMS ID]
- 。 タイトル

[全体] タブ：

- 。 [以前の書誌標目]
- 。 [MMS ID]
- 。 [タイトル]

[検索] オプションを使用する場合、検索は次の性質を有します。

- 。 検索は最長30日前のレコードまで処理することができます。
- 。 検索はテキストに対して表示される順番で実行することができます。
- 。 検索結果には、最大1,000件のレコードを表示することができます。

5. [ファセット] でフィルタリングすることで、単語、フィールド番号、簡易レベルまたは非公開レコードに焦点を当ててタスクを表示します。

---

#### Note

[検索(find)]、[検索(search)]、および[ファセット]機能の組み合わせを使用して、[典拠管理タスクリスト]内の特定のレコードを検索する場合は、ファセットを最後に選択します。ファセットが選択された後に他のオプションを使用すると、選択されたファセットがクリアされます。

- 
6. [列]ドロップダウンリストを使用して選択を行うと、特定の列に制限した表示をすることができます。
  7. レコードのリストから、[タイトル]列のタイトルリンクを選択してレコードを表示します。

タイトルを[MARCレコード簡易表示]ページで開きます。このページから、オプションで[編集]を選択して変更を加えることができます。

---

#### Note

リストのレビュー中に、同じレコード (MMS ID) が2つの異なるエラーで識別される場合があります。これはシステムがコミュニティゾーン典拠レコードをチェックし、ローカル典拠レコードが一致するかどうかをチェックすることが原因である可能性があります。

---

## 編集タスクとプロセス変更

以下の手順に従って、タスクを編集し、典拠管理タスクリストの変更を処理します。

### [典?管理タスクリスト] でタスクを編集して?更を処理する方法

1. 典拠管理タスクリストページを開きます。
2. 編集するタスクについて、行アクションリストから[編集]を選択します。オプションで、複数のページにわたる複数のレコード、最大100件のレコードを編集するには、目的のタスクのチェックボックスを選択し、リストの上にある[選択したものを編集]を選択します。

レコードはMDエディタで問題のあるフィールドに開かれ、そのフィールドが異なる背景色で強調表示されます。問題のあるレコードに追加のフィールドがある場合、別の色で強調表示されます。

3. 通常どおりにレコードを編集します。

F3キーで優先/非優先レコードを表示する際、非優先語の詳細を表示するには「展開」オプションを使用してください。追加の詳細は太字で強調表示されており、類似する非優先語がある場合に特に役立ちます。

4. 変更を[保存]します。
5. 確認や変更が完了したら、次の操作を行ってください。

- 。 単独機関またはネットワークゾーン機関の場合：

行アクションリストから「却下」を選択すると、リストからタスクを却下できます。また、チェックボックス列の行チェックボックスを選択し、〔選択項目を却下する〕を選択することで、複数のレコードを削除することもできます。

---

#### Note

すべて却下するを選択すると、すべてのタブから提示されたすべてのレコードが閉じられます。オプションで、最大100件のレコードまでの複数のページにわたる複数のレコードを却下するには、目的のタスクの行チェックボックスを選択し、選択項目を却下するを選択します。  
このアクションは、機関のローカルレコードのみを却下し、他のメンバー機関には影響しません！

- 
- 。 コンソーシアムのメンバー機関の場合：

1. リストからタスクを削除するには、行のアクションリストからローカルで却下を選択します。また、チェックボックス列の行チェックボックスを選択し、〔選択項目を却下する〕を選択することで、複数のレコードを削除することもできます。
2. タスクをリストから削除するには、行アクションリストからネットワークの却下を選択しますこのアクションにより、自分の機関だけでなくコンソーシアム全体(すべてのメンバー機関)のタスクも削除されます。また、チェックボックス列の行チェックボックスを選択し、〔選択項目を却下する〕を選択することで、複数のレコードを削除することもできます。

---

#### Note

すべて却下するを選択すると、すべてのタブに表示されているすべてのレコードがメンバーの機関に対してのみ却下されます。このアクションは他のメンバー機関には影響しません。オプションで、最大100件のレコードまでの複数のページにわたる複数のレコードを却下するには、目的のタスクの行チェックボックスを選択し、選択項目を却下するを選択します。メンバー機関のローカルレコードのみが却下されます。

---

## 全タスクの却下

表示されるタブ(レビュータブまたはすべてタブ)に関係なく、典拠管理タスクリストページから利用可能なすべてのタスクを削除することを選択することができます。

レビュータブを表示しているときは、すべて却下するをページアクションとして使用できます。

これは元に戻すことができずリスクのあるアクションであるため、すべてのコンソーシアムメンバーには影響せず、メンバー機関に対してのみローカルに影響します。

〔典拠管理タスクリスト〕から利用可能なすべてのタスクを削除するには、〔すべて却下する〕を選択します。

---

## 典拠管理タスクリストレポートタイプの設定

典拠管理タスクリストの種類(設定メニュー>リソース>一般>典拠管理タスクリストの種類)から、典拠管理タスクリストのレビュータブに、表示させたいレポートタイプを指定できます。

この設定オプションを使用すると、無効化としてマークされているレポートタイプは、典拠管理タスクリストとレポートタイプリストの両方から削除されます。すべてのレポートタイプはデフォルトで有効になっています。

---

## Note

すべての典拠管理リストタイプが無効化されている場合、典拠管理タスクリストのレポートタイプフィルターで設定できるのはすべてのみです。したがって、すべてのレポートタイプが表示されます。

---

レポートタイプを無効にするには、詳細アクションボタン（



) を選択し、カスタマイズオプションを選択します。「有効」スライドバーがアクティブになります。バーをスライドして特定のレポートタイプを無効にし、画面の右上にあるカスタマイズボタンをクリックします。

Enabled	Code	Description	Translation	Updated By	Last Updated	
<input checked="" type="checkbox"/>	LINK_NO_MATCH	Linking - BIB heading found no matc	Linking - BIB heading found no matching AUT headings	-	-	...
<input checked="" type="checkbox"/>	LINK_MULTIPLE_MATCH	Linking - BIB heading found multiple	Linking - BIB heading found multiple matching AUT headings (ambiguous)	-	-	...
<input checked="" type="checkbox"/>	LINK_REDIRECTION	Linking - BIB heading link change du	Linking - BIB heading link change due to AUT record redirection	-	-	...

権限管理リストタイプレビュー